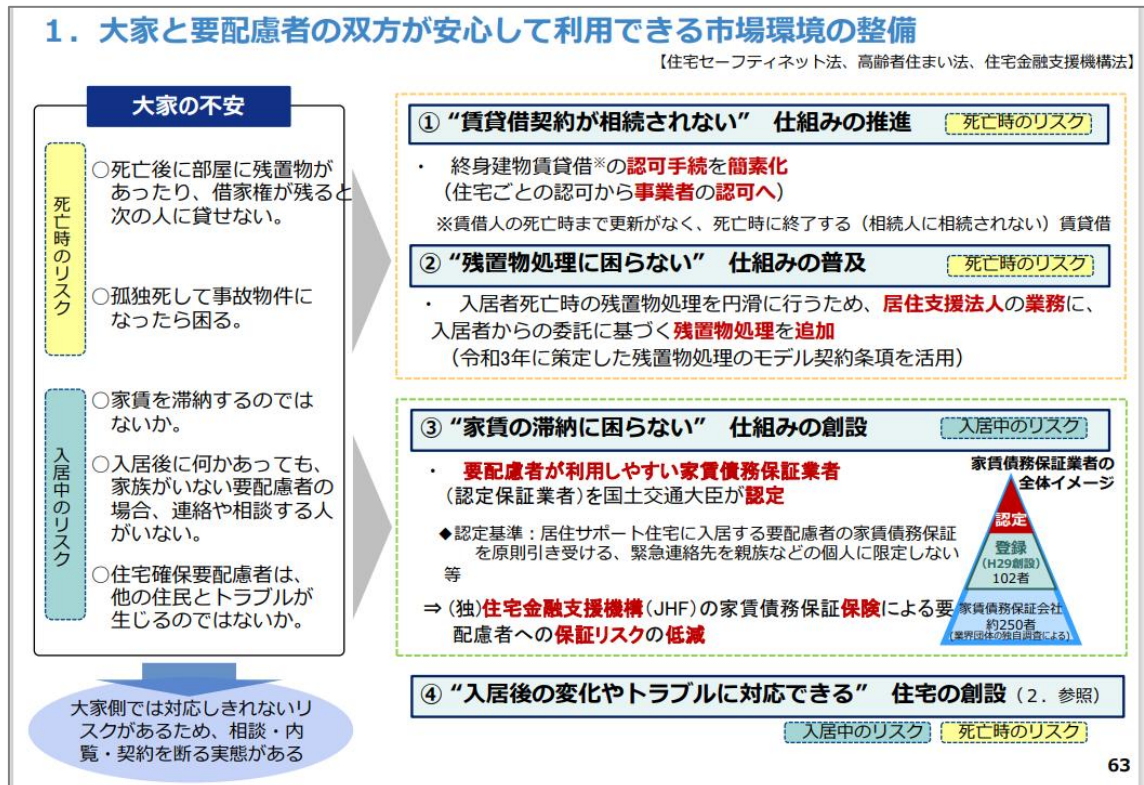


小林委員提示の「次期介護保険事業計画策定に向けた論点」

※メールより抜粋。趣旨を損ねない範囲で、一部事務局で文言修正

- 資料12の63番「大家と要配慮者の双方が安心して利用できる市場環境の整備」



- ・ このシートは一部加工して市報に乗せるととても効果的だと思います。市民が何となく不安に思っていることへ、市が対策を打ち出していることはとても良いことだと思います。
- 介護保険において 健康な方、健康維持に頑張っている方へのモチベーションアップのため、何かしらのポイントやクーポン発行などはできないでしょうか？
- ・ 約8割の方は介護保険は掛け捨てになってしまわれていると言われています。その方たちへのメリットを打ち出して欲しいです。
- 生きがいがづくりの創出が必要です。
 - ・ ペットを通じた交流やサロン活動 植栽に関する披露の場 ロボットペットの推進
 - その他、これまでのイベントに抱き合わせてできることから、その人たちが運営側になって始めてみてはどうでしょうか？

令和7年3月21日

小林委員提出資料

- 介護人材の育成についてです。
 - ・ エssenシャルワーカーである資格をマイナンバーに登録したり、本人のみが使えるカードを提示すると市内の買い物が安くなる、長く続けると割引率が拡大するなどのサービスはできないものか？
 - ・ 市内小中学校の職場体験の中に介護現場を増やせないか？
 - ・ 教育委員会では探索しにくいヤングケアラーへの支援を啓蒙できないか？

以上